



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月10日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東  
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 俊也  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 柏 正孝 (TEL) 03-3279-0771  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 2021年6月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	13,060	0.1	1,518	8.9	1,702	15.7	1,388	18.2
2020年9月期第2四半期	13,054	△1.7	1,393	△9.4	1,471	0.3	1,174	21.0

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 1,190百万円(29.4%) 2020年9月期第2四半期 920百万円(17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	56.54	56.10
2020年9月期第2四半期	47.95	47.53

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	36,309	30,903	84.7
2020年9月期	34,519	30,264	87.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 30,763百万円 2020年9月期 30,074百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	14.00	—	24.00	38.00
2021年9月期	—	16.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	26.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	8.2	2,100	68.0	2,200	51.7	1,700	18.2	69.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	26,085,000株	2020年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	1,479,422株	2020年9月期	1,589,902株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	24,553,489株	2020年9月期2Q	24,488,614株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

“はかる”ことは、新しいモノ・コトを創り出すために欠かすことのできないプロセスであり、当社グループは、最先端の“はかる”技術のプロフェッショナル集団として技術革新や環境安全に貢献してきました。先端計測技術・機器の輸出入販売をベースとし、自社システム製品・ソリューションの開発によって、日本市場だけでなく中国を中心としたアジア市場や米国市場にも進出し、当社事業の拡大に注力しています。

また、当期は中期経営計画(目標数値:売上高260億円、営業利益20億円、ROE5.0%)の最終年となります。新型コロナウイルス感染拡大(以下、「感染拡大」という。)による影響はありますが、通期計画及び中期経営計画の達成を目指して事業を推進しています。

この結果、当社グループの経営成績は、連結売上高は130億6千万円(前年同四半期比0.1%増)となりました。この内、国内売上高は125億1千8百万円、中国や米国向けを中心とした海外売上高は5億4千2百万円となりました。

利益面では、営業利益15億1千8百万円(前年同四半期比8.9%増)、経常利益17億2百万円(前年同四半期比15.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億8千8百万円(前年同四半期比18.2%増)となりました。

各事業のセグメントごとの業績は、次のとおりです。

## (情報通信/情報セキュリティ)

情報通信におきましては、注力している5G(第5世代移動通信システム)及びローカル5G分野における、通信事業者からの受注、及びテレワーク普及による通信品質の試験需要増加による受注は堅調でしたが、売上は減少しました。一方、採算性の改善により営業利益は大幅に増加しました。また、重点的に取り組んでいるソフトウェア製品のサブスクリプションビジネスも順調に伸長しました。情報セキュリティにおきましては、DDoS対策などが大きく伸長しました。この結果、売上高は37億4千4百万円(前年同四半期比2.1%減)、営業利益は4億7千9百万円(前年同四半期比48.7%増)となりました。

## (機械制御/振動騒音)

機械制御/振動騒音におきましては、自動車市場を中心に研究開発用センサーの国内市況が回復しつつあります。また、米国市場では感染拡大の影響により大型システムの購買中止や延期があり、受注、売上ともに影響を受けました。この結果、売上高は25億9千4百万円(前年同四半期比17.9%減)、営業利益は6億3千3百万円(前年同四半期比22.6%減)となりました。

## (物性/エネルギー)

物性/エネルギーにおきましては、自社開発の全固体電池開発用測定システムや、EV(電気自動車)向け急速充電評価装置の販売が引き続き大変好調です。国が掲げている再生可能エネルギープロジェクトからのニーズも多く、エネルギー分野の販売も順調でした。物性分野ではセンサー類のオンライン販売が浸透し販売が増加しました。この結果、売上高は29億7千2百万円(前年同四半期比36.3%増)、営業利益は6億3千5百万円(前年同四半期比97.2%増)となりました。

## (EMC/大型アンテナ)

EMCにおきましては、大型装置の販売は感染拡大の影響による予算先送りを受けて減少しましたが、中・小規模の装置は予定通り前期並みとなりました。中国においては、顧客の設備環境が整わずに納入が遅れるケースはあるものの、自動車向けの通信品質評価設備投資は回復傾向にあり、中国国家試験機関よりグローバルスタンダードの大型計測システムを受注することができました。国内においても同設備の需要が高まっています。この結果、売上高は19億5千5百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益は2億5千1百万円(前年同四半期比2.0%減)となりました。

## (海洋／特機)

海洋／特機におきましては、防衛関連の受注が増加していますが、売上までの期間が長い場合が多く、受注残が増加しています。今後も受注の増加傾向は継続する見込みです。また、感染拡大の影響を受けていた民間需要は、徐々に以前の水準に戻りつつあります。この結果、売上高は6億8千8百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は1億3千6百万円（前年同四半期比72.6%増）となりました。

## (ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきまして、ゲーム業界におけるソフトウェア構成管理ツールの需要が高く、新規採用企業の増加、及びライセンス追加購入により販売が増加しました。また、セキュリティ脆弱性検査ツールについてもアプリケーションセキュリティへの認識が高まっており、継続利用を含むサブスクリプション販売が堅調に推移しました。一方で、自動車業界を中心とするソフトウェア検証ツールの新規販売は、予算縮小の影響を受けて低迷しました。この結果、売上高は5億9千8百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は1億8百万円（前年同四半期比446.5%増）となりました。

## (ライフサイエンス／マテリアルズ)

ライフサイエンス／マテリアルズにおきましては、医療機関向けの胸部読影支援システムや整形外科用プランニングツール等の販売は前期並みで推移しましたが、医療機器メーカー向けのOEM販売は減少しました。ナノ分析装置関連については、新型プラズマ走査顕微鏡の販売は計画通りに推移していますが、他の分析装置販売は感染拡大の影響により顧客サンプルの測定が実施できずに低調でした。この結果、売上高は5億7百万円（前年同四半期比27.8%減）、営業利益は2千7百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ17億9千万円増加し、363億9百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加22億1百万円、有価証券の増加13億6百万円等によるものです。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少3億4千6百万円、投資有価証券の減少14億1千4百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億5千1百万円増加し、54億6百万円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加5億5千4百万円、未払法人税等の増加2億5千8百万円等によるものです。一方、主な減少要因は、役員賞与引当金の減少4千4百万円、固定負債のその他の減少3千1百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億3千8百万円増加し、309億3百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加7億6千7百万円、自己株式の減少1億1千8百万円等によるものです。一方、主な減少要因は、その他有価証券評価差額金の減少2億4百万円、新株予約権の減少5千万円等によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1億5千3百万円増加し、65億3千4百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益20億3千9百万円及び仕入債務の増加額4億9千8百万円によるものです。一方、資金の主な減少要因は、売上債権の増加額21億8千7百万円及び法人税等の支払額3億9千3百万円によるものです。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2億3千1百万円の増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入16億9千1百万円及び有価証券の売却による収入9億3百万円によるものです。一方、資金の主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出16億7百万円及び有価証券の取得による支出3億6千1百万円によるものです。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは4億3千6百万円の増加となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な減少要因は、配当金の支払額5億8千7百万円によるものです。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは5億5千4百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、引き続き感染拡大の影響を受けながらも、EV(電気自動車)や5G(第5世代移動通信システム)に関する、お客様の積極的な投資を販売に結び付けられたことで、期初計画の範囲内で推移しており、下期も堅調に推移するものと見込んでいます。加えて、政策保有株式の売却などにより特別利益を計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は期初計画を上回る見込みとなりましたので、通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。なお、2020年11月2日に公表いたしました連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	2,100	2,200	1,500	61.24
今回修正予想(B)	25,000	2,100	2,200	1,700	69.09
増減額(B-A)	-	-	-	200	-
増減率(%)	-	-	-	13.3	-
(ご参考)前期実績 (2020年9月期)	23,104	1,250	1,450	1,438	58.74

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,880,472	3,534,415
受取手形及び売掛金	4,216,040	6,417,423
有価証券	5,218,677	6,525,101
商品及び製品	1,612,361	1,826,159
その他	478,173	522,105
貸倒引当金	△400	△600
流動資産合計	15,405,326	18,824,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,991,298	4,991,624
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,926,184	△2,970,703
建物及び構築物(純額)	2,065,114	2,020,921
車両運搬具	60,671	60,671
減価償却累計額	△44,295	△47,211
車両運搬具(純額)	16,376	13,460
工具、器具及び備品	3,810,862	3,941,559
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,067,935	△3,232,083
工具、器具及び備品(純額)	742,927	709,476
土地	5,607,940	5,607,940
有形固定資産合計	8,432,358	8,351,799
無形固定資産		
のれん	109,906	104,843
ソフトウェア	812,251	810,134
ソフトウェア仮勘定	150,923	62,559
その他	14,967	14,827
無形固定資産合計	1,088,049	992,364
投資その他の資産		
投資有価証券	6,981,250	5,566,338
退職給付に係る資産	592,510	597,253
繰延税金資産	726,184	790,175
長期預金	700,000	700,000
その他	707,072	614,557
貸倒引当金	△113,101	△127,245
投資その他の資産合計	9,593,916	8,141,079
固定資産合計	19,114,324	17,485,243
資産合計	34,519,650	36,309,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,246,731	1,801,032
未払法人税等	426,689	685,654
賞与引当金	451,481	641,550
役員賞与引当金	74,700	30,600
その他	1,308,271	1,526,115
流動負債合計	3,507,873	4,684,953
固定負債		
退職給付に係る負債	650,952	657,376
その他	96,360	64,467
固定負債合計	747,313	721,844
負債合計	4,255,187	5,406,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	22,691,789	23,459,646
自己株式	△1,712,762	△1,593,778
株主資本合計	29,740,527	30,627,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361,748	157,656
繰延ヘッジ損益	△1,964	43,301
為替換算調整勘定	△63,900	△83,730
退職給付に係る調整累計額	37,801	18,900
その他の包括利益累計額合計	333,685	136,128
新株予約権	190,251	139,554
純資産合計	30,264,463	30,903,050
負債純資産合計	34,519,650	36,309,848

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	13,054,112	13,060,974
売上原価	7,227,234	7,209,476
売上総利益	5,826,877	5,851,497
販売費及び一般管理費	4,432,987	4,333,164
営業利益	1,393,890	1,518,333
営業外収益		
受取利息	54,847	49,838
受取配当金	31,262	92,148
為替差益	14,210	74,376
その他	18,240	33,205
営業外収益合計	118,561	249,569
営業外費用		
支払利息	2,509	1,857
たな卸資産評価損	—	47,738
持分法による投資損失	38,349	15,449
その他	320	46
営業外費用合計	41,179	65,092
経常利益	1,471,272	1,702,810
特別利益		
固定資産売却益	3,079	1,675
投資有価証券売却益	264,826	338,409
特別利益合計	267,906	340,084
特別損失		
固定資産処分損	4,406	3,280
特別損失合計	4,406	3,280
税金等調整前四半期純利益	1,734,772	2,039,614
法人税、住民税及び事業税	551,000	637,000
法人税等調整額	9,559	14,446
法人税等合計	560,559	651,446
四半期純利益	1,174,213	1,388,167
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,174,213	1,388,167

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,174,213	1,388,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△279,757	△204,092
繰延ヘッジ損益	22,900	45,266
為替換算調整勘定	1,220	△19,064
退職給付に係る調整額	456	△18,900
持分法適用会社に対する持分相当額	1,216	△765
その他の包括利益合計	△253,963	△197,556
四半期包括利益	920,249	1,190,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	920,249	1,190,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,734,772	2,039,614
減価償却費	455,789	481,702
のれん償却額	10,583	10,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,328	13,640
賞与引当金の増減額(△は減少)	△310,000	190,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△41,500	△44,100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,910	5,883
受取利息及び受取配当金	△86,110	△141,986
支払利息	2,509	1,857
持分法による投資損益(△は益)	38,349	15,449
投資有価証券売却損益(△は益)	△264,826	△338,409
固定資産除売却損益(△は益)	1,326	1,605
たな卸資産評価損	—	47,738
売上債権の増減額(△は増加)	△2,478,362	△2,187,940
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,693	△245,806
仕入債務の増減額(△は減少)	400,370	498,066
その他	604,511	124,390
小計	121,687	472,052
利息及び配当金の受取額	99,365	154,509
利息の支払額	△2,509	△1,857
法人税等の支払額	△521,134	△393,640
法人税等の還付額	570	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△302,019	231,063
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△361,489
有価証券の売却による収入	1,001,340	903,360
有形固定資産の取得による支出	△192,093	△163,486
有形固定資産の売却による収入	3,359	7,996
無形固定資産の取得による支出	△202,410	△130,028
投資有価証券の取得による支出	△401,760	△1,607,837
投資有価証券の売却による収入	333,798	1,691,016
その他	9,215	96,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	551,450	436,175
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△333	△483
配当金の支払額	△514,197	△587,882
ストックオプションの行使による収入	8	110
その他	—	33,911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514,521	△554,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,065	40,807
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△258,025	153,703
現金及び現金同等物の期首残高	4,564,427	6,380,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,306,401	6,534,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	3,825,246	3,159,628	2,181,243	1,972,009	624,193
セグメント利益	322,345	818,366	322,245	257,152	78,978

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	588,848	702,942	13,054,112
セグメント利益	19,937	26,335	1,845,361

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,845,361
全社費用(注)	△451,471
四半期連結損益計算書の営業利益	1,393,890

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	3,744,078	2,594,198	2,972,986	1,955,602	688,764
セグメント利益	479,451	633,723	635,444	251,904	136,345

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	598,097	507,247	13,060,974
セグメント利益	108,959	27,915	2,273,745

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,273,745
全社費用(注)	△755,411
四半期連結損益計算書の営業利益	1,518,333

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。